

北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現小浜市民協議会で中央要望を行いました 北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会総会・決起集会が開催されました



中山国土交通副大臣に要望書を提出

5月31日(火)、東京都内において、当市民協議会で中央要望を行いました。

当市民協議会からは、松崎会長、小澤副会長、井田副会長および古田副会長が出席し、高木衆議院議員同席のもと、中山国土交通副大臣や与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームなどに対し、要望書を提出しました。

要望では、「令和5年度当初からの敦賀以西着工」と「駅位置の早期公表」を求めました。中山副大臣からは、「敦賀以西を連続して大阪までというお気持ちは、地元の皆様の安心感につながる。環境影響評価を現在実施しており、少し遅れている地域もあるがしっかりと取り組んでいきたい。今後は京都・大阪などに様々な課題もありテーマであるので、最適な解を出していきたい。」とのコメントがありました。

6月18日(土)、小浜市文化会館において、杉本福井県知事や高木衆議院議員など関係者約400人が出席し、北陸新幹線小浜・京都ルート建設促進同盟会総会と小浜・京都ルートの早期実現に向けた決起集会が3年ぶりに開催されました。

決起集会では、「敦賀・新大阪間の環境影響評価を沿線地域の意見を踏まえながら、迅速かつ着実に進め、令和4年末までに終了すること」、「敦賀・新大阪間の建設財源を令和4年末までに確保するなど、着工5条件の早期解決を図り、令和5年度当初から整備を進め、令和12年度末頃までに新大阪までの全線開業を実現すること」、「JR小浜線は特急が運行されておらず、新幹線開業により旅客輸送量が著しく低下する路線ではないため、経営分離される並行在来線には該当しない旨、国の考えを確認すること」の決議を採択し、最後に小浜・京都ルートの早期実現に向け、出席者全員でガンパロー三唱を行いました。



ガンパロー三唱する出席者